

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34104	情報サービス論 Introduction to Information Services	江良 友子	専門	2	選択	1・2年前期
科目の概要						
<p>高度情報社会の中で図書館が情報サービスを提供することの意義について、歴史的な状況をふまえて学習する。図書館で行われている情報サービスの内容と方法について、参考図書、データベース等の情報源の特性、サービスの類型、図書館利用教育などについて学習する。</p> <p>情報サービスを行う際、真心・努力・感謝の精神をもって人と接することが必要であることを学ぶ。</p>						
学修内容			到達目標			
① 情報サービスの歴史と現状について学ぶ			① 情報サービスの発生と展開、日本への導入、現状について理解することができる			
② 情報サービスの種類と特徴を学ぶ			② 図書館における情報サービスの種類と特徴を理解することができる			
③ レファレンスサービスについて学ぶ			③ 情報サービスを実践するための技法を知ることができる			
④ 各種情報源の特質と利用法を学ぶ			④ 様々な分野のレファレンスブックの特質と使用法を知ることができる			
⑤ 図書館利用教育について学ぶ			⑤ 図書館利用教育・情報リテラシー育成の方法を知ることができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	指示がなくても日常的に図書館を利用できる。				
	働きかけ力					
	実行力	図書館の情報提供機能を学ぶという目的に向かって、指示がなくても自ら図書館を利用する。				
考え抜く力	課題発見力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと様々な角度から考えることができる。				
	計画力					
	創造力	社会の流れから図書館に必要な資料を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	聞く人に合わせて、わかりやすい発表ができる。				
	傾聴力	話を聞くときはメモを取りながら、目を見て相槌をうつなどして聞く。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:「図書館情報学基礎資料」 2016年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,080円</p> <p>その他、講義用レジュメおよび追加資料を配付する。</p> <p>必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。</p> <p>参考文献:授業の中で紹介する。</p>						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:図書館に関する科目全て						
資格との関連:図書館司書						
学修上の助言			受講生とのルール			
日頃から図書館や書店に足を運ぶこと。 授業の中で1週間のトピックを質問するので、毎日、新聞に目を通すこと。			遅刻・早退は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに欠席分の配布資料を取りに来ること。 欠席した場合でも課題提出は必須です。必ず指定された期限までに提出すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	90	①	✓	評価のポイント ・図書館における情報サービスの意義について書くことができる ・情報サービスの歴史を理解している ・情報サービスの種類を理解している ・大学図書館で論文を書くための支援方法を理解している ・情報サービスに必要な人的・物的資源を理解している ・レファレンスプロセスを理解している ・情報検索のしくみを理解している ・情報検索に使用する論理演算子を理解している ・基本的なレファレンスブックを知っている ・ネットワーク上の情報源の特質を理解している ・代表的な情報発信型サービスを知っている ・情報サービスの課題について考察することができる ・図書館利用教育がどのようなものか、書くことができる ・授業内で出てきた専門用語の意味を書くことができる
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 図書館を日常的に利用している (実行力) 図書館のレファレンスを自主的に利用できる (課題発見力) 毎日、新聞を読み、社会の流れを知ることができる (創造力) 毎日、新聞を読み、社会の流れを知り、図書館サービスに必要な資料を考えることができる。 (発信力) 1週間の新聞記事からトピックを選択し、ポイントを絞ってわかりやすい発表ができる。 (傾聴力) 相手が話をしやすい環境を作ることができる。 (規律性) 指定された期日までに遅れることなく提出物を出すことができる。 ※上記の7項目は各項目に合致したそれぞれの回で評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価 割合	100		筆記試験、学修態度の成績を総合して評価する。	

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
S(秀)評価 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について理解し、9割以上回答できている。 学修態度にある7項目が達成できている。 A(優)評価 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について理解し、8割以上回答できている。 学修態度にある7項目のうち6項目以上が達成できている。	B(良)評価 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について概ね理解し、7割以上回答できている。 学修態度にある5項目以上が達成できている C(可)評価 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について6割以上回答できている。 学修態度にある7項目のうち4項目以上が達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 図書館における情報サービスの意義を学ぶ ビデオ:「レファレンスサービス」	講義 ビデオ視聴	情報サービスの概要を知ることができる	(第1回予習) レファレンスサービスとは何かについて調べ、1分程度で発表できるようにノートにまとめる (復習) ビデオ「レファレンスサービス」を見て学んだことについてまとめる。 (予習その他) 新聞を読む:1週間	60	自主性
2週 /	情報サービスの歴史と現状 情報サービスの発生と展開、日本への導入と現状について学ぶ DVD:『映像でみる戦後日本図書館のあゆみ』	講義 新聞記事についての発表とフィードバック DVD 視聴	情報サービスの歴史について知ることができる	(復習) 情報サービスの歴史について授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性
3週 /	情報サービスの実際 1 様々な情報サービスについて学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	情報サービスの種類と内容を理解することができる	(復習) 情報サービスの種類と内容について授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性
4週 /	情報サービスの実際 2 専門的な情報サービスの在り方について学ぶ ビデオ「論文のまとめかた」	講義 新聞記事についての発表とフィードバック ビデオ視聴	専門的な情報サービスとは何かを知り、その在り方を理解することができる	(復習) 専門的な情報サービスの種類と内容について授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性
5週 /	デジタル環境下での情報サービス インターネット社会での情報サービスについて学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	インターネット社会での情報サービスの特徴を知ることができる	(復習) デジタル環境下でのレファレンスサービスについて授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性
6週 /	情報サービスの管理 情報サービスの人的資源と物的資源について学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	情報サービス資源の種類を知ることができる	(復習) 情報サービスの管理について授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性
7週 /	情報源の整備 情報サービスのための情報源の整備について学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	情報サービスのための情報源整備の重要性を理解することができる	(復習) 情報源整備について授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性
8週 /	レファレンスサービスの理論と実際 1 情報探索行動とレファレンスプロセスを学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	情報探索行動とは何か、レファレンスプロセスの流れを理解することができる	(復習) 情報探索の方法4つとそれらの特徴についてまとめなさい (予習) 公共図書館でレファレンスサービスを受けるための準備(質問準備) (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	実行力 創造力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	レファレンスサービスの理論と実際 2 情報の検索と回答の仕方について学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	情報の検索と回答方法について理解することができる	(復習) 第9回プリント事例1~3の空欄を埋める (予習) 公共図書館でレファレンスサービスを受けてみる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	実行力 創造力 発信力
10週 /	レファレンスサービスの理論と実際 3 情報検索の仕組みを学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	情報検索の仕組みを理解することができる	(予習) 公共図書館で受けたレファレンスサービスからレファレンス手法を考え、各プロセスで重要だと思う点を1点以上上げる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	実行力 創造力 発信力
11週 /	各種情報源の特質と利用法 1 レファレンスブックの特質と利用法を学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	様々な分野のレファレンスブックの特質と利用方法を知ることができる	(復習) 授業で取り上げたレファレンスブックを図書館で確認し、特徴をノートにまとめる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性
12週 /	各種情報源の特質と利用法 2 様々な分野のレファレンスブックの特質と利用法を学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	様々な分野のレファレンスブックの特質と利用方法を知ることができる	(復習) 授業で取り上げたレファレンスブックを図書館で確認し、特徴をノートにまとめる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性
13週 /	各種情報源の特質と利用法 3 ネットワーク上の情報源の特質と利用法を学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	ネットワーク上の情報源の特質と利用方法を知ることができる	(復習) 授業で取り上げたネットワーク上の情報源をネット上で確認し、特徴をノートにまとめる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性
14週 /	発信型情報サービスの意義と方法 パスファインダーなどの新しい発信型情報サービスの意義と方法を学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	発信型情報サービスの意義と方法を理解することができる	(復習) 発信型情報サービスとはどういうものか特徴をノートにまとめる (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性
15週 /	図書館利用教育 図書館利用教育と情報リテラシーについて学ぶ	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	図書館利用教育の種類を知り、情報リテラシー教育の重要性を理解することができる	(復習) 図書館利用教育とはどういうものか特徴をノートにまとめる 情報サービスを今後も図書館サービスの柱としていくために必要なことを3点あげ、其々理由を説明しなさい	180	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力